



シリーズ / 公立受検システムを知ろう③

I 特別入学者選抜の続き

2：全日制の課程総合学科（エンパワメントスクール）

（1）出 願

- ① 出願は、1校に限る。
- ② 出願期日及び出願時間は、次のとおりとする。

2月14日	月	午前9時～午後4時
2月15日	火	午前9時～午後2時

右上の8校です！！

- ③ 志願者は、下記の書類等を志願先高等学校長に提出する。（郵送は認めない。）

ア 入学志願書

イ 自己申告書 自己申告書は、原則として、志願者の自筆とする。

ウ 入学検定料

府立学校用の納付書（府立全日制用）により、その裏面に指定された金融機関窓口で入学検定料 2,200円をあらかじめ納入し、領収印が押印された入学検定料納付証明書（入学志願書貼付用）を入学志願書の裏面にはりつけて提出する。

エ **英語資格のスコアを証明する証明書写し（活用する生徒のみ）**

オ （過年度卒業者のみ）

本人及び保護者（両親のある場合は両親とも）の住民票の写し又はこれに代わる証明書

カ 特別事情等に該当する者は、**入学志願特別事情申告書**、又は府教育委員会が交付した承認書及びその関係書類

（2）学 力 検 査 等

- ① 学力検査は、2月17日（木）午前8時50分から

面接は、2月18日（金）午前8時50分から行う。

- ② 学力検査等は、志願者全員について各高等学校長が、当該高等学校において行う。

- ③ 学力検査の問題は、国語、社会、数学、理科及び英語について、中学校卒業までに習得される基礎的な学力を評価することを主眼として、府教育委員会が作成する。

なお、英語の学力検査にはリスニングテストを含む。

また、国語、数学及び英語の学力検査については、「基礎的問題」と「標準的問題」の2種類「特別入学者選抜等における問題の種類及び特徴」の問題を作成する。ただし、リスニングテストは同一問題とする。

各高等学校長はあらかじめ使用する問題を選択し、府教育委員会において決定した「学力検査問題の種類並びに学力検査の成績及び調査書の評定にかける倍率のタイプ」に示す種類の学力検査の問題で実施する。

国・数・英の教科
各10点程度です。

No.	学校名	学 科 名				学力検査問題の種類			倍率のタイプ
		専門学科等				国語	数学	英語	
1	布施北	—	総合学科 (エンパワメントスクール)			A	A	A	Ⅲ
2	成城	—	総合学科 (エンパワメントスクール)			A	A	A	Ⅲ
3	西成	—	総合学科 (エンパワメントスクール)			A	A	A	Ⅲ
4	長吉	—	総合学科 (エンパワメントスクール)			A	A	A	Ⅲ
5	箕面東	—	総合学科 (エンパワメントスクール)			A	A	A	Ⅲ
6	岬	—	総合学科 (エンパワメントスクール)			A	A	A	Ⅲ
7	淀川清流	—	総合学科 (エンパワメントスクール)			A	A	A	Ⅲ
8	和泉総合	—	総合学科 (エンパワメントスクール)			A	A	A	Ⅲ

④ 面接は、自己申告書及び調査書中の活動/行動の記録に基づいて、集団面接で行う。5人

- ⑤ 学力検査等の実施時間割及び配点は、次のとおりとする。

ア 2月17日（木）

時 限	第1時	第2時	第3時		第4時	第5時
検査教科	国 語	数 学	英 語		理 科	社 会
時 間	40分	40分	40分	リスニングテスト 15分	40分	40分
時 刻	9:00 ～ 9:40	10:00 ～ 10:40	11:00 ～ 11:40	11:50 ～ 12:05	13:00 ～ 13:40	14:00 ～ 14:40
配 点	45点	45点	45点		45点	45点

イ 2月18日（金）

	面 接
時 間	———
時 刻	9：00から 班ごとに実施
配 点	———

（3）入 学 者 の 選 抜

- ① 選抜の資料は、調査書、学力検査の成績、自己申告書及び面接の評価とする。

- ② 合格者の決定に当たっては、次のように行う。

ア 選抜の第一手順として、国語、数学及び英語の学力検査の成績において、府教育委員会が別に定める基準に達した者の中から、面接の評価、自己申告書及び調査書中の活動/行動の記録を資料として、その高等学校のアドミッションポリシー（求める生徒像）に最も適合する者から順に合格とする。その際、面接、自己申告書及び調査書中の活動/行動の記録の評価の比率については、2：1：1とし、それぞれの評価を合わせて、総合判定する。

なお、第一手順による選抜における合格者数については、募集人員の50%を上限とする。

<※募集定員の50%がほぼ面接で決定される！！>ここ重要デス

イ 第一手順における合格者を除いた者の中から、選抜の第二手順として、学力検査の成績に、調査書中の必修の全教科の評定を加えた総合点の高い者から順に募集人員を満たすよう合格者を決定する。

なお、総合点の算出に当たっては、次のように行う。

裏面へ

- (ア) 学力検査の各教科の成績を合計する。(225点満点)
- (イ) 調査書中の評定については1年45、2年45、3年135満点とする。(225点満点)
- (ウ) (ア)及び(イ)で算出した点数に、次の5つのタイプで示された倍率の中からあらかじめ各高等学校長が選択し、府教育委員会が決定した倍率「学力検査問題の種類並びに学力検査の成績及び調査書の評定にかける倍率のタイプ」をそれぞれかけて合計する。

学力検査の成績及び調査書の評定にかける倍率のタイプ	学力検査の成績にかける倍率	調査書の評定にかける倍率
I	1. 4倍	0. 6倍
II	1. 2倍	0. 8倍
III (エンパワ)	1. 0倍	1. 0倍
IV	0. 8倍	1. 2倍
V	0. 6倍	1. 4倍

(4) 合格者の発表

合格者の発表は、2月28日(月)午後2時に各高等学校において行う。

ボーダーゾーンについて

例えば募集定員320人の高校に400人が受検したとする。
倍率は、1.25倍で、80名が不合格になる。

さて、合否判定をするとき総合得点順に並べて、定員の110%までの352人を仮の合格とします。この時点で48人は不合格

次に定員の90%までの288人を合格とし、残りの352－288＝64人をボーダーゾーンとし、
自己申告書及び調査書中の活動/行動の記録を資料として、その高等学校のアドミッションポリシー(求める生徒像)に極めて合致する者を優先的に合格させます。

つまり、面接のない選抜では、このボーダーゾーンに入った時だけ自己申告書が使われることになる。

64人のうち合致する生徒が4名いれば、その生徒は優先的に合格となり、残りの60名は、結局総合得点の高い順で合否が決まります。4＋上位28人と合わせて32名が合格、32名が不合格になります。
理解できましたか？

自己申告書について少し・・・

特別選抜、帰国生選抜、中高一貫選抜、一般選抜、二次選抜、秋季選抜の志願者は、次のテーマについて記載し、出願時に提出する。

なお、原則として、志願者の自筆とする。

高等学校長は自己申告書をアドミッションポリシー(求める生徒像)に基づく選抜を行う際の資料とする。ただし、帰国生選抜、中高一貫選抜、一般選抜における通信制の課程、二次選抜及び秋季選抜においては、面接の参考資料とする。

なお合格者の自己申告書を、入学後の指導の資料として活用することができるものとする。

【テーマ】

あなたは、中学校等の生活(あるいはこれまでの人生)でどんな経験をし、何を学びましたか。また、それを高等学校でどのように生かしたいと思いますか。できるだけ具体的に記述してください。

- ◆受験者全員に提出が求められます。面接がない高校でも、ボーダーゾーン(理解できてる?)に入った場合、この自己申告書が合否判定に使われます。
- ◆自分が志望している高校のアドミッションポリシー(求める生徒像)を必ず調べとくこと。その「求める生徒像」と上の「テーマ」と絡めながら記入しなければならない。
- ◆アドミッションポリシーは、大阪府教育委員会のサイトを検索するなり、担任に尋ねてください。
- ◆A4用紙1.5枚分の記入スペースがあります。原稿用紙2枚分は十分にあります。生徒会や部活動、外部でのボランティア活動やスポーツクラブで活躍していた生徒は、具体的に書くことができるでしょうが、そのような経験が少ない生徒は、今から記入材料を探しておいてくださいよ。
- ◆記入材料は、担任は作れない!!文章的表现の指導はできるかも知れませんがね。

12月22日(予定)に下書きをしてもらおうと思っています。
それまでに記入材料や エピソードなどを簡条書きにしておこう!!

今日はグランド状態が悪いため
体育大会は16日(火)に延期
でも火曜日は雨の心配は無さそうだ!!
君たちの炎を燃やせ!競え青春、強気もの!